

令和元年度第4回
袋井市行政改革推進委員会 会議録

日 時：令和元年8月26日（月） 18：30～20：30

会 場：袋井市役所4階 庁議室

出席者：小泉祐一郎会長、豊田浩子副会長、加々美道也委員、木村満義委員
塩崎明子委員、田代貴志委員、田中里佳委員、水野信也委員（8人）

<会議次第>

○協議事項（意見交換）

公共空間のリノベーションの推進（市民生活の“豊かさ”向上&“収益”向上へ）

- （1）公園・水辺のリノベーション（都市公園の柔軟な利活用推進）
- （2）役所のリノベーション・資産のシェアリング（公共資産の有効な利活用促進）

<会議の概要>

- （1）第3回の委員会にて各委員からいただいた御意見を基に、事務局が具体的な取組方針案を提示し、それに対して各委員から再度御意見をいただいた。
- （2）公園以外の市役所が保有する公共資産について、紹介すると共に、全国の事例等を示し、各委員から活用の方向感について御意見をいただいた。

（委員意見）

- （1）・まちの魅力、川魅力を磨き上げ、体験をうまく組み立てると人が集まる。
 - ・空間が空いているのであれば、有料で貸し出す方が管理の面でも良い。
 - ・人の集まる所、集めたい所に工夫して整備すべき。
 - ・収益の為なのか、市民サービスの為なのかを割り切って考える。
 - ・どこでどんなサービスが受けられるか明確にする。市民はそのつもりで準備する。
 - ・社会実験を実施し、市民の声を聴きながら進めれば、あるべき姿が見える。
 - ・ICTを活用し、そこでしか出来ない体験を提供する。
- （2）
 - ・研究目的での定点カメラなどの機材の設置。
 - ・公共空間は、背後にあるまちの価値を見つけ、それを活かした活用をする。
 - ・環境の整ったコワーキングスペースがあれば、人が集まり面白い。
 - ・職員同士や職員と市民と一緒に食事ができる食堂があると新たな取組が生まれる。
 - ・公共施設の空きは全国的な問題。全国の事例を参考に研究すべき。
 - ・駅前と市役所のエリアが分断されてしまっている。
 - ・駅の自由通路をもっと自由に有効活用すべき。